

耳鼻いんこう科専攻医カリキュラム

1. 目標

耳鼻咽喉科の外来診療を行い、入院患者の治療計画を立て、一般的な手術をできるようにする。

2. 研修スケジュール

年度	
1年度	耳鼻咽喉科外来・病棟および手術
2年度	耳鼻咽喉科外来・病棟および手術
3年度	耳鼻咽喉科外来・病棟および手術
終了後の予定	

3. 診療科の特徴

耳、鼻、のどの疾患に関して内科的および外科的治療を行う。

頭頸部の腫瘍を扱う。

4. 研修体制

1) 教育病院の指定の有無

日本耳鼻咽喉科学会により許可された耳鼻咽喉科専門医研修施設。

2) 研修カリキュラム

日本耳鼻咽喉科学会の専門医カリキュラムに準拠。

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

耳鼻咽喉科専門医 卒後7年目

4) スタッフ体制

部長1名、常勤医2名、専攻医2名

5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会： 毎週1回火曜日 17時～18時

(2) 病棟カンファレンス： 毎月1回木曜日 17時～18時

6) 主な参加学会

日本耳鼻咽喉科学会東海地方会

日本耳鼻咽喉科学会

7) 定期的に参加する研究会等

(1) 東三河耳鼻咽喉科医会 年3回

(2) 東西三河耳鼻咽喉科医会 年2回

(3) 桜山耳鼻咽喉科手術を考える会 年1回

5. 主な経験目標

1) 診察法・検査・手技

(1) 診察法

外来で行う検査方法や検査機器を理解し、必要にして十分な検査を行う能力を持つ。

(2) 検査法

ファイバー、純音聴力検査、中耳機能検査、温度眼振検査、ENoG および神経興奮性検査、味覚検査、唾液腺造影、食道造影、頸部エコー、穿刺吸引細胞診などができるようにする。

(3) 基本的手技

異物摘出、口蓋扁桃摘出術、鼻の手術、気管切開術喉頭微細手術ができ、頭頸部腫瘍、耳の手術の助手ができる。

(4) 基本的治療法

外来での一般的治療および入院患者の治療計画を立てることができる。また救急患者の処置ができる。

2) 経験すべき症状・病態・疾患

(1) 症状

耳鼻咽喉科・頭頸部領域のさまざまな症状について経験する。

(2) 病態

耳、鼻、のどに関する一般的な病態生理を理解する。

(3) 疾患

耳鼻咽喉科の一般的な疾患、奇形、外傷、頭頸部領域の腫瘍について経験する。

3) 研究会・学会発表・論文発表

(1) 研究会発表 以下の研究会等のいずれかに1回以上の発表を行う。

日本耳鼻咽喉科学会東海地方会
桜山病診連携東三会